プレスリリース

2023年2月3日
公益財団法人東京都歴史文化財団

シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］アート・インキュベーション・プログラム

CCBTの 2022年度 アーティスト・フェロー5組による 作品発表・展覧会を都内各地で順次開催

AI、デジタルファブリケーション、AR等を駆使したアート作品を公開

テクノロジーを活用したアート表現とデザインが、
都市をクリエイティブに彩り、新たな作品体験を創出する

アーティスト・フェローによる活動の様子／作品イメージ

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、2022年10月にオープンした、デジタルテクノロジーの活用を通じて人々の創造性を社会に発揮するための活動拠点「シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］」（以下、CCBT）のアーティスト・フェロー５組による作品展示・展覧会を、2023年2月よりCCBTおよび都内各所にて実施します。

本アーティスト・フェローは、CCBTのコアプログラムのひとつ「アート・インキュベーション・プログラム」として、CCBTを創作環境とした企画や作品を制作するほか、CCBTのワークショップやレクチャー等の講師としても活動してきました。CCBTでは、制作費として1000万円を上限にサポートし、制作スペース及び機材の提供やテクニカルサポート、メンターをはじめとした様々な専門家からのアドバイスなどを通じて、企画の具体化を行っています。

東京2020オリンピックの開会式のドローン演出を手掛けた野老朝雄＋平本知樹＋井口皓太による新作発表を皮切りに、Tomo Kihara + PlayfoolによるAIと人間が共創するオリジナルゲーム、そして渋谷の街を舞台にしたARによる展覧会を順次開催。さらに、アーティストグループSIDE COREによる都市の変化をテーマにした映像シリーズの新作も公開します。

これら、AIやデジタルファブリケーション、ARなどの技術を駆使した表現や展覧会、そして都市に現れる様々な作品を通じ、アートとテクノロジーによる多様な表現をお楽しみいただけます。

※内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

本プレスリリースに掲載の画像は、https://tayori.com/f/civiccreative/　からダウンロードできます。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。
【お問い合わせ先】「シビック・クリエイティブ・ベース東京」広報事務局（共同ピーアール株式会社内）
Tel: 03-6264-2039　Fax: 050-3737-6661
Email: civiccreative-pr@kyodo-pr.co.jp

公益財団法人東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN FOUNDATION FOR HISTORY AND CULTURE

1. CCBTアート・インキュベーション・プログラムとは

デジタルクリエイティブの社会への実装を目指す、国内最大規模のアーティスト・フェロー制度
初代フェローとして、5組のクリエイターが活動中

2022年度 CCBTアーティスト・フェロー

〈公募プログラム〉

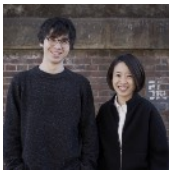
2022年7月に企画公募を行い、70件の応募のうち3組をアーティスト・フェローとして採択しました。AIやAR、都市の描写など、異なる領域で活躍する次世代のクリエイターが選出されました。

Tomo Kihara + Playfool

木原共（アーティスト、インタラクションデザイナー）

「思索のための玩具」をテーマに、社会に新しい視点をもたらすゲームや実験的ソフトウェアの開発を行う。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、オランダのデルフト工科大学院のインタラクションデザイン科を修了。その後、アムステルダムに拠点を置く研究機関Waag Futurelabに参加し、人工知能が社会に与える影響についての研究に携わる。近年の作品はアルス・エレクトロニカ STARTS PRIZE （リンツ、2021年）にノミネートされたり、Victoria & Albert Museum（ロンドン、22年）で展示された。
https://www.tomokihara.com

Playfool (デザイナー、アーティスト、YouTuber)



Daniel CoppenとSaki Coppenによる実験的なユニット。共にイギリス・ロンドンのRoyal College of Artを修了し、以来「あそび」 をテーマに、年齢問わず体験者の創造性を育む道具としての制作の在り方を探究している。YouTube上でも精力的に活動している他、過去作品はVictoria & Albert Museum（ロンドン、2022）、MAK - Museum of Applied Arts （ウィーン、19~ ）で展示されている
https://studioplayfool.com

SIDE CORE

SIDE CORE（アーティスト・グループ）

2012年より活動開始。メンバーは高須咲恵、松下徹、西広太志。映像ディレクターとして播本和宜が参加。ストリートカルチャーの視点から公共空間を舞台にしたプロジェクトを展開しており、作品制作や展覧会の企画を通じ、新しい風景の見え方・在り方を発見することを目的としてる。

浅見和彦+ゴッドスコーピオン+吉田山

浅見和彦 （プロデューサー）

2018年に株式会社Psychic VR Lab、株式会社パルコ、株式会社ロフトワークの共同プロジェクト「NEWVIEW Project」の立ち上げや運営に携わり、21年にPsychic VR Labにプロデューサーとして入社。STYLYを活用したプロジェクトデザインからマネジメントまでプロデュース業務を幅広く担当している。主な実績として「NEWVIEW Project」、「ULTRA TOUR by STYLY」、「渋谷空想水族館 powerd by XRscape」、「MONDO GROSSO XRDJ LIVE」などがある。

ゴッドスコーピオン（メディアアーティスト）

「Psychic VR Lab」創設メンバー。魔術、XRテクノロジー、認知のフレームの変化をテーマに作品を制作。都市空間、生活空間への主な作品に、2014年度文化庁若手クリエイター育成事業採択『Stricker』、DJVR空間ジョッキー『Spatial Jockey』、東京リチュアル、バンギ・アブドゥルとの共作でVRリチュアル作品『NOWHERE TEMPLE Beta』（2015年）。『ISLANDS』（小林健太・中里周子展示「ISLAND IS ISLANDS」、TOLOT / heuristic SHINONOME、東京、15年）。画家小田島等、漫画家ひらのりょうとの共作『YouとHere』（Higure Galler、東京、16年）、『chloma 2016-17 A/W Visual Art (VR)』がある。その他、篠田千明『zoo』 VRディレクター（KYOTO EXPERIMENT、16年）、VRカウンセリングサービス「HIKALY」ディレクター。

吉田山（アート・アンプリファイア、キュレーター）

富山県出身アルプス育ち。近所のフィールドワークを基に、そのアウトプットとしてアートスペースの立ち上げや作品制作、展覧会のキュレーション、ディレクション、コンサルティングや執筆等の活動を行う。近年の主なプロジェクトに、「インストールメンツ」（投函形式、住所不定、2020年）、「芸術競技」+「オープニングセレモニー」（FL田SH、東京、2020年）、「のけもの」（アーツ千代田3331、東京、2021年）、「The eyes of the wind／風の目たち」(トビリシ、ジョージア; obscura、東京、2022年)、「MALOU A-F」(Block House、東京、2022年)。

メンター／審査会委員
いすたえこ（アートディレクター、グラフィックデザイナー）
伊藤隆之（山口情報芸術センター[YCAM] R&Dディレクター）
岩屋民穂 （グラフィックデザイナー）
齋藤精一（パノラマティクス主宰）
竹川潤一（一般社団法人 MUTEK Japan 理事）
細川麻沙美（札幌国際芸術祭事務局統括マネージャー）

応募概況
- 応募テーマ
今年度は以下の３つのテーマで各1組、計3組のフェローを募集しました。
1. テクノロジーを応用した新しいアート作品
2. 街を舞台にしたパフォーミングアーツ／インタラクティブアート
3. 東京のユースカルチャーを表現する映像作品

- 公募期間：2022年7月20日〜8月10日
- 応募総数：70件
- 応募資格
日本在住であること
18歳以上であること
5年以上の活動歴を有すること　ほか

-

〈共創モデル〉

CCBTの活動テーマのひとつである「発見」「共創」を体現する2組のフェローにより、CCBTのオープニングイベント（10月23日開催）のほか、恵比寿映像祭2023での作品発表を行います。

野老朝雄＋平本知樹＋井口皓太

犬飼博士とデベロップレイヤーたち

2. CCBTおよび都内での作品等の発表（1/3）

インスタレーション作品の屋外展示と、創作プロセスを公開する展示を恵比寿映像祭2023とCCBTで同時開催

野老朝雄＋平本知樹＋井口皓太「FORMING SPHERES」

東京2020オリンピックの開会式のドローン演出を手掛けた3名による新作プロジェクト。今回は、エンブレムにも採用された野老朝雄氏による組市松紋様を、3Dプリンターを用いて球体の彫刻として再構築。さらにこの彫刻群に光を投影することで、光と影によるインスタレーション作品へと変貌させる。本作品は、2023年2月3日より開催の恵比寿映像祭2023の屋外展示として発表するほか、CCBTでは創作過程や本作のプロトタイプを紹介する関連展示を実施する。

開催概要

■インスタレーション展示

恵比寿映像祭2023　オフサイト展示　　野老朝雄＋平本知樹＋井口皓太《FORMING SPHERES》

2023年2月3日（金）～2月19日（日）※6日（月）・13日（月）は休止　**10:00～20:00**（最終日は18:00まで）

会場：恵比寿ガーデンプレイス センター広場

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

■ 関連展示

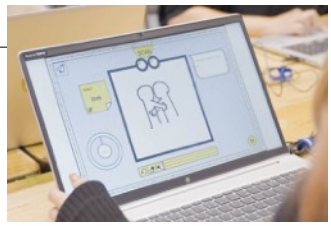
「FORMING SPHERES」プロトタイプ公開

2023年2月7日（火）～2月16日（木）13:00～19:00　※休館日：月曜日

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団　企画協力：東京都写真美術館

最先端のAIと人間が競争＆共創するゲームを活用した展示やワークショップを実施！



展覧会イメージ

Tomo Kihara + Playfool「Deviation Game」

人間には認識できるが、AIには認識できないモチーフを描くゲームを活用し、ワークショップや展覧会などを開催。昨今では、人間による表現と見分けがつかない高品質な絵や文章のAIによる生成が話題だが、本プロジェクトでは何かを生成するのではなく、過去にその表現が存在したかを識別し、そこから逸脱(deviate)するための装置としてAIを用いている。全6回のワークショップ等を通じた参加者によるデータの蓄積は、展覧会の作品群へと反映され、AIを進化させる。AIと人間の競争と共創の関係を通じて、人間がまだ探索できていない表現の領域の開拓に挑む。

開催概要

■ ワークショップ「Deviation Game — AIと競争＆共創する」【全6回】

対象：小学4年生以上　定員：各回10名（事前申込／先着順）

2023年3月4日（土）・5日（日）、10日（金）、12日（日）、17日（金）・19日（日）

（金曜日：17:00～18:30、土・日曜日：13:30～17:00）

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］ほか

■ 展覧会「Deviation Game ver1.0」

2023年3月４日（土）～3月21日（火・祝）13:00～19:00　※休館日：月曜日

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団

○ オープニングトーク「最新のAIがゲームとアートに与える影響について」

2023年3月5日（日）16:00～18:30

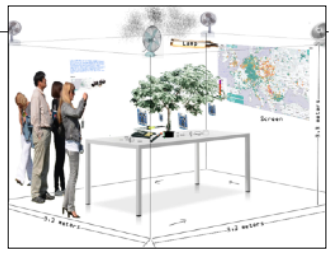
登壇者：Tomo Kihara+Playfool（CCBTアーティストフェロー）、谷口暁彦（メディアアーティスト）、ほか

CIVIC CREATIVE BASE TOKYO
シビック・クリエイティブ・ベース東京

2. CCBTおよび都内での作品等の発表（2/3）

国内外8組のアーティストによる渋谷の街を舞台にしたAR展覧会

出展作家による作品イメージ



浅見和彦+ゴッドスコーピオン+吉田山
展覧会「Augmented Situation D」

「Augmented Situation D」は、CCBTと渋谷市街地を舞台に、展示された作品群と携帯電話に写し出されるARの融合を楽しむ展覧会。来場者は、作品や街中にあるARマーカーを携帯電話で読み込む。すると、リアルな空間と仮想空間が融合した作品表現が立ち現れてくる。
展覧会のテーマは「祝祭」。AR技術を用いて、渋谷の都市空間に祝祭性を生み出す本プロジェクトは、都市を舞台にした芸術祭、XRによるアート表現の新たな可能性を切り拓くものである。

開催概要

■展覧会「Augmented Situation D」
2023年3月10日（金）～3月21日（火・祝）
会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］、渋谷区内施設
主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団
協力：ゲーテ・インスティトゥート東京

■ 関連ワークショップ「ARと合唱する！声楽ワークショップ」
対象：小学1年生～6年生　定員：20 名（事前申込／先着順）
2023年2月12日（日）11:00～14:00
会場：渋谷 7thFLOOR（〒150-0044 東京都渋谷区円山町２–３ Owestビル）
主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団

出展アーティスト：
- God Scorpion［日本］
- Markus Selg［ドイツ］
- Simon Weckert［ドイツ］
- こだまたち
（小松千倫＋米澤柊＋三好優夏）［日本］
- GROUP［日本］
- suzuko yamada architects［日本］
- ALTEMY［日本］
- ANY（nile greenberg）［アメリカ］

都市の変化をテーマにした映像シリーズ、待望の新作。都市の風景と地下空間を切り取る、映像インスタレーション作品

SIDE CORE「rode work ver. under city」

作品イメージ

震災復興や都市開発など、都市の変化をスケートボードの視点で切り取る映像作品シリーズ「rode work」の新作を発表。2017年より発表されてきた同シリーズの待望の新作となる今回は「都市の地下空間」がテーマ。普段目に触れられることは少ないが、都市の発展とともに増殖を続ける地下空間は東京の基盤である。本作は都内の野外空間や地下空間で発表することを計画しており、鑑賞体験においても普段目に触れることが少ない場所に訪れ、東京という都市に対して新しい視点を切り拓くプロジェクトとなっている。

開催概要

■ インスタレーション展示
SIDE CORE「rode work ver. under city」
会期予定：2023年3月18日(土)～3月26日(日)　会場： 都内某所
主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団

■ 関連イベント　※CCBTにおけるトークイベント等を予定
2023年3月23日(木) 19:00～
会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］
主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団

2. CCBTおよび都内での作品等の発表（3/3）

2022年10月にCCBTオープンを飾った「未来の東京の運動会」。そのドキュメンタリー映像がついに完成！

犬飼博士とデベロップレイヤーたち「未来の東京の運動会」

CCBTのオープニングイベントとして10月に開催した「未来の東京の運動会」。子どもからおとなまで総勢200名が参加し、テクノロジーを活用した新しい競技種目やツール、スポーツゲームのルールを共創し、世界にひとつだけの東京の運動会が実現した。運動会本番までの一連の活動をつぶさに追った記録映像を１本のドキュメンタリー映像として制作。その完成披露上映会をCCBTにて開催する。

「未来の東京の運動会」の様子
撮影：佐藤基

開催概要

未来の東京の運動会ムービー　完成披露プレミアム上映会
2023年2月26日（日）14:00〜16:00
登壇：犬飼博士、（株）MODOCチーム（企画制作会社）、山城大督（美術家・映像作家）
会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］
主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団

3. アーティスト・フェローにより、年間の活動を紹介する報告会

次期フェローの募集を前に、アーティスト・フェローと作品制作に伴走したメンターが登壇し、本年度の活動を振り返る報告会を開催。5組のクリエイターによる活動発表を行います。

2022年度 CCBTアーティスト・フェロー 活動報告会

2023年3月21日（火・祝）15:00〜19:00
会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京［CCBT］　※事前申込不要

プレゼンター：
犬飼博士（未来の東京の運動会）、**平本知樹**（FORMING SPHERES）、
Tomo Kihara + Playfool（Deviation Game）、**浅見和彦+ゴッドスコーピオン+吉田山**（Augmented Situation D）、**SIDE CORE**（rode work ver. under city）

登壇者（本プログラムメンター）：
いすたえこ（アートディレクター・グラフィックデザイナー）、**岩屋民穂**（グラフィックデザイナー）、
齋藤精一（パノラマティクス主宰）、**細川麻沙美**（札幌国際芸術祭事務局統括マネージャー）　**ほか**

各イベントへのお申し込み

※展覧会、ワークショップ、トークイベント等はすべて入場無料です。

申込については公式HPを参照　https://ccbt.rekibun.or.jp/

CIVIC CREATIVE BASE TOKYO
シビック・クリエイティブ・ベース東京

住　　所：東京都渋谷区宇田川町3-1　渋谷東武ホテル地下２階
※渋谷駅ハチ公改札口より徒歩8分
開館時間：13:00〜19:00　休館日：月曜日
お問合せ：03-5458-2700（開館時のみ）